

設備投資「ある」、 3 年連続で 6 割を下回る

内容、「設備の代替」が 62.2%
「ない」理由、「先行きが見通せない」が 39.7%

岡山県・2025 年度の設備投資に関する企業の意識調査



本件照会先

越久田 悟(支店長)
帝国データバンク
岡山支店
TEL: 086-224-4681

発表日

2025/06/23

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

岡山県で 2025 年度に設備投資計画が『ある』と回答した企業は 52.6%となり、3 年連続で 6 割を下回った。内容は、「設備の代替(入れ替えや交換、更新など)」が 62.2%でトップとなった。一方、「設備投資を予定していない」と回答した企業は 42.7%となり、2年ぶりに増加して4 割を超えた。理由は「先行きが見通せない」が 39.7%でトップ。全体として慎重な姿勢がうかがえるものの、人手不足の解消を目的とした合理化・省力化、老朽設備の更新などへの意識が高いことが分かった。

※帝国データバンク岡山支店は、「2025 年度の設備投資」に関する企業の意識調査を実施した。

調査期間:2025 年 4 月 16 日～4 月 30 日

調査対象:岡山県 460 社、有効回答企業数は 171 社(回答率 37.2%)

1. 設備投資、『ある』が52.6%、3年連続で6割を下回る

2025年度(2025年4月～2026年3月)に設備投資を実施する予定(計画)があるか尋ねたところ、設備投資計画が『ある』(「すでに実施した」「予定している」「実施を検討中」の合計)と回答した企業は171社中90社、構成比52.6%となり、3年連続で6割を下回った。内訳は、「すでに実施した」が3.5%(6社)、「予定している」が30.4%(52社)、「実施を検討中」が18.7%(32社)だった。一方、設備投資を「予定していない」と回答した企業は42.7%(73社)となり、2年ぶりに増加して4割を超えた。また、「分からない」は4.7%(8社)だった。

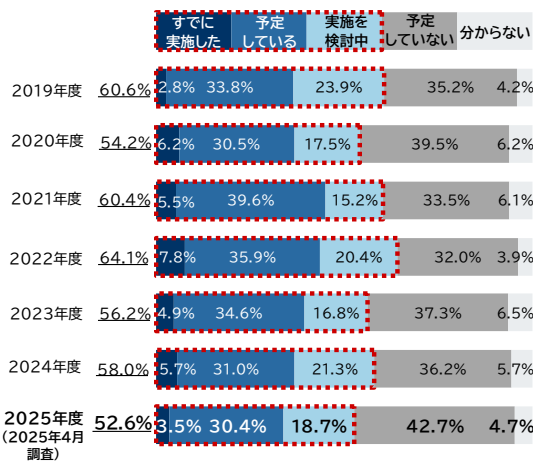
前回の2024年度と比較すると、設備投資計画が『ある』と回答した企業は、前年度より5.4ポイント低くなった。一方、「予定していない」は6.5ポイント高くなった。

規模別にみると、設備投資計画が『ある』と回答した企業では、「大企業」が構成比59.3%(16社)で、「中小企業」(51.4%・74社)を7.9ポイント上回った。「小規模企業」は36.8%(21社)にとどまり、規模が小さいほど設備投資を予定(計画)している企業の割合は低くなった。一方、設備投資を「予定していない」と回答した企業では、「中小企業」が45.1%(65社)で、「大企業」(29.6%・8社)を15.5ポイント上回った。「小規模企業」は57.9%(33社)だった。

業種別(母数10社以上)でみると、設備投資計画が『ある』と回答した企業では、「製造」が構成比68.2%(30社)で最も高く、「卸売」(60.0%・18社)、「小売」(47.4%・9社)、「建設」(41.7%・10社)、「サービス」(37.1%・13社)が続いた。一方、設備投資を「予定していない」と回答した企業では、「サービス」が57.1%(20社)で最も高く、「小売」(52.6%・10社)、「建設」(45.8%・11社)、「卸売」(36.7%・11社)が続いた。

企業の設備投資計画

設備投資計画の推移



注1:小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。また、内訳も必ずしも一致しない
注2:下線の値は、設備投資計画が『ある』(点線枠が指す「すでに実施した」「予定している」「実施を検討中」の合計)割合

2025年度の設備投資計画

(構成比%・カッコ内社数)										
2025年4月 調査	設備投資の 計画あり				予定 していない	分らない	合計			
	すでに 実施した	予定している	実施を検討中							
全国	57.4 (6,160)	6.0 (641)	30.3 (3,251)	21.1 (2,268)	34.4 (3,696)	8.2 (879)	100.0 (10,735)			
岡山	52.6 (90)	3.5 (6)	30.4 (52)	18.7 (32)	42.7 (73)	4.7 (8)	100.0 (171)			
大企業	59.3 (16)	3.7 (1)	40.7 (11)	14.8 (4)	29.6 (8)	11.1 (3)	100.0 (27)			
中小企業	51.4 (74)	3.5 (5)	28.5 (41)	19.4 (28)	45.1 (65)	3.5 (5)	100.0 (144)			
うち小規模	36.8 (21)	5.3 (3)	17.5 (10)	14.0 (8)	57.9 (33)	5.3 (3)	100.0 (57)			
農・林・水産	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	66.7 (2)	0.0 (0)	100.0 (3)			
金融	75.0 (3)	0.0 (0)	50.0 (2)	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (4)			
建設	41.7 (10)	0.0 (0)	25.0 (6)	16.7 (4)	45.8 (11)	12.5 (3)	100.0 (24)			
不動産	20.0 (1)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)	80.0 (4)	0.0 (0)	100.0 (5)			
製造	68.2 (30)	4.5 (2)	40.9 (18)	22.7 (10)	27.3 (12)	4.5 (2)	100.0 (44)			
卸売	60.0 (18)	6.7 (2)	36.7 (11)	16.7 (5)	36.7 (11)	3.3 (1)	100.0 (30)			
小売	47.4 (9)	5.3 (1)	21.1 (4)	21.1 (4)	52.6 (10)	0.0 (0)	100.0 (19)			
運輸・倉庫	71.4 (5)	0.0 (0)	42.9 (3)	28.6 (2)	28.6 (2)	0.0 (0)	100.0 (7)			
サービス	37.1 (13)	2.9 (1)	17.1 (6)	17.1 (6)	57.1 (20)	5.7 (2)	100.0 (35)			

注1:網掛けは、岡山県の全体以上を表す
注2:母数は、有効回答企業171社

2. 設備投資の内容、「設備の代替」が6割にのぼる

2025 年度の設備投資計画が『ある』と回答した企業 90 社に対して、予定（計画）している設備投資の内容について尋ねたところ、「設備の代替（入れ替えや交換、更新など）」が構成比 62.2%（56 社）で最も多かった（複数回答、以下同）。次いで、「省力化・合理化（省人化なども含む）」「既存設備の維持・補修」が各 28.9%（26 社）、「情報化（IT化）関連（AIなど）」が 24.4%（22 社）、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」が 21.1%（19 社）で続いた。

予定している設備投資の内容上位（複数回答）

		(%)		
		2025年度設備投資の内容 (2025年4月調査)		
		全体	大企業	中小企業
1	設備の代替(入れ替えや交換、更新など)	62.2	62.5	62.2
2	省力化・合理化(省人化なども含む)	28.9	37.5	27.0
	既存設備の維持・補修	28.9	37.5	27.0
4	情報化(IT化)関連(AIなど)	24.4	50.0	18.9
5	DX(デジタルトランスフォーメーション)	21.1	37.5	17.6
6	事務所等の増設・拡大(建替え含む)	20.0	25.0	18.9
7	新製品・新事業・新サービス	14.4	0.0	17.6
8	増産・販売力増強(国内向け)	13.3	18.8	12.2
9	省エネルギー対策(燃費改善、環境対策、脱炭素化対応など)	10.0	12.5	9.5
10	研究開発(R&D)	3.3	6.3	2.7
	物流関連(倉庫等)	3.3	6.3	2.7
	規制への対応	3.3	0.0	4.1

注：母数は、2025年度の設備投資計画が『ある』と回答した企業90社

3. 予定していない理由、「先行きが見通せない」がトップ

2025 年度に設備投資を「予定していない」と回答した企業 73 社に対して、その理由を尋ねたところ、「先行きが見通せない」と回答した企業が構成比 39.7%（29 社）で最も多かった（複数回答、以下同）。次いで、「現状で設備は適正水準である」が 27.4%（20 社）、「投資に見合う収益を確保できない（コスト上昇は含まない）」が 17.8%（13 社）、「設備投資にかかるコストの上昇」が 15.1%（11 社）で続いた。

設備投資を予定していない理由上位（複数回答）

		(%)		
		2025年度予定していない理由 (2025年4月調査)		
		全体	大企業	中小企業
1	先行きが見通せない	39.7	62.5	36.9
2	現状で設備は適正水準である	27.4	12.5	29.2
3	投資に見合う収益を確保できない(コスト上昇は含まない)	17.8	25.0	16.9
4	設備投資にかかるコストの上昇	15.1	25.0	13.8
5	借入れ負担が大きい	13.7	25.0	12.3
6	すでに投資を実施した	12.3	12.5	12.3
7	自社に合う設備が見つからない	11.0	0.0	12.3
8	手持ち現金が少ない	9.6	0.0	10.8
9	金利引き上げの影響	8.2	12.5	7.7
10	投資のための借入見通しが立たない	6.8	0.0	7.7

注：母数は、2025年度の設備投資を「予定していない」と回答した企業73社

まとめ

岡山県で 2025 年度に「設備投資を予定(計画)している」と回答した企業は 52.6%となり、3 年連続で 6 割を下回った。一方、「設備投資を予定していない」と回答した企業は 42.7%となり、2 年ぶりに前年度を上回り4割を超えた。

設備投資の内容では、老朽化した既存設備の入れ替えや交換、更新などを目的とした「設備の代替」が 6 割を超えて最も高く、次いで、「省力化・合理化(省人化なども含む)」「既存設備の維持・補修」が各 28.9%で続いた。予定していない理由では、「先行きが見通せない」が 4 割を占めた。2025 年度の設備投資は、全体として慎重な姿勢がうかがえる一方で、人手不足の解消を目的とした合理化・省力化、老朽設備の更新などへの設備投資は意識が高いことがわかった。

政府は、ものづくり補助金、新事業進出補助金、中小企業省力化投資補助金、中小企業成長加速化補助金など多岐にわたる政策を打ち出している。一方で、引き続き物価高に加え、個人消費の低迷、人件費の上昇が重なり、国内景気の下振れリスクが高まり始めているため、中小企業に対してさらに迅速で実効性の高い支援策や促進策の強化が求められる。

企業からの声

- ・当初予定していたが、トランプ関税の影響を受けて方向性が見極められない (製造)
- ・設備費の高騰に加え、人件費の上昇が重なり、収益性が伴わない (運輸)
- ・人件費の高騰により、設備投資に対しては、二の足を踏んでいる (土木建築サービス)
- ・省エネ補助金の利用を検討している (化学品製造)
- ・予定通りの利益が期待できるので、設備投資を予定している (繊維製品製造)
- ・システムの一元化を目指しており、政府補助金、助成金を活用したい (サービス)
- ・最小限にとどめる予定である (飲食料品小売)

※企業規模区分

中小企業基本法に準拠するとともに、全国売上高ランキングデータを加え、下記の通り区分している。

業界	大企業	中小企業(小規模企業含む)	小規模企業
製造業その他の業界	「資本金 3 億円を超える」かつ 「従業員数 300 人を超える」	「資本金 3 億円以下」または 「従業員 300 人以下」	「従業員 20 人以下」
卸売業	「資本金 1 億円を超える」かつ 「従業員数 100 人を超える」	「資本金 1 億円以下」または 「従業員数 100 人以下」	「従業員 5 人以下」
小売業	「資本金 5 千万円を超える」かつ 「従業員 50 人を超える」	「資本金 5 千万円以下」または 「従業員 50 人以下」	「従業員 5 人以下」
サービス業	「資本金 5 千万円を超える」かつ 「従業員 100 人を超える」	「資本金 5 千万円以下」または 「従業員 100 人以下」	「従業員 5 人以下」

注 1: 中小企業基本法で小規模企業を除く中小企業に分類される企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが上位 3%の企業を大企業として区分

注 2: 中小企業基本法で中小企業に分類されない企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが下位 50%の企業を中小企業として区分

注 3: 上記の業種別の全国売上高ランキングは、TDB 産業分類(1,359 業種)によるランキング